

令和6年度 第2回 堺市 ICT 戦略推進本部会議 議事要旨

1 日時 令和7年2月12日(水) 10:30 ~ 11:10

2 場所 本館 4階 庁議室(オンライン)

3 議題 【審議事項】

1 堺市における職員の ICT 活用の現状

- ・堺市 DX の推進
- ・デジタルツール活用による業務の効率化
- ・アナログ規制の見直し
- ・行政手続きオンライン化の推進

2 my door OSAKA の利用促進

【報告事項】

ICT 戦略の進捗 (R7 予算案)

業務システムの標準化

4 議事要旨

【事務局 審議事項・報告事項 説明】

(佐小副市長)

my door OSAKA の ID 登録者数について、現在、登録者数はまだ少ない状況であるため、登録者を増やす取組を全局区において願います。

また、今後、生産年齢人口の減少と労働者の流動化が進む中で、本市にも大きな影響が予想される。ICT 関連の取組として、より一層 AI の積極的な活用に注力する必要がある。

(本屋副市長)

my door OSAKA について、登録者数は全体で 3,781 名、そのうち堺市民が 2,122 名と半数以上を占めている。これは、my door OSAKA で提供する堺市のサービスが多いためと考えてよいか。

(政策企画部理事)

そのように考えている。

(本屋副市長)

そうであれば、やはりサービスの充実が重要。各部局が協力して活用を進めてもらいたい。

また、オンライン化について、国や大阪府等の要因でオンライン化できない手続きについては、国に改善

を求めるべき。各部局と ICT イノベーション推進室で何が問題でどう改善すればよいかをわかりやすく資料に整理してもらいたい。

(ICT イノベーション推進監)

オンライン化については、国への要望を予定している。関係する本部員の皆様には、資料作成時に各部署内でのご協力をお願いしたい。

(市長)

職員のアンケート結果では、部長級以上ではデジタル化が進んでいるとの認識が高いが役職が下がるほど低下。この差を埋めるためには局長級自らがリーダーシップを発揮する必要がある。また、理解はしているものの行動が伴っていない状況であり、必要性和効果を共有し、行動に移す意義を明確にすることが重要。全職員が意識を持ちながら部門別の状況に応じて取り組むこと。

DX 実行計画の推進は、各部門がデジタル化から DX までの段階を意識し、ICT イノベーション推進室が状況を把握することが大切。デジタル化が必ずしも DX に結びつかない場合もあるが、DX は目的ではなく手段であり広い視野を持って進めてもらいたい。

オンライン化の進捗と計画に関しては、特に重要取組のうち未実施の 25 件は ICT イノベーション推進室と各局で協議し、具体的な計画を立てること。遅れている部分についても注意しながら進めるように。

my door OSAKA は、まずは本部員自らが使ってみることが重要。リーダーが使わないと他の人に勧めても必要性が伝わらない。まずは自分で使用し、その中で今後の展開に繋がるアイデアや仕組みを見出し、市全体や各部門での取組と連携させるなど更に効果的な仕組みをめざす。

(ICT イノベーション推進監)

オンライン化の 25 件については重要な取組であり、ICT イノベーション推進室では既に手続内容の確認や個別相談を行っている。各本部員も状況を確認し、早急にオンライン化を進めることで市民の利便性向上に努めるようお願いする。